

全国消費実態調査 試験調査結果概要について

1. 実施概要

2019年全国消費実態調査の実施に向けた企画設計の検討に関する基礎資料を得るため、民間の調査機関の登録モニターを用いた試験調査を以下のとおり実施した。

1 調査の対象

調査対象は、民間の調査機関の登録モニターから世帯人員（二人以上／単身）、世帯区分（勤労／無職／勤・無以外）毎に、計 808 世帯に対して調査を依頼し、うち 495 世帯（61.3%）からすべての調査票を回収

2 調査票及び調査時期

「世帯票」、「耐久財調査票」、「年収等調査票」については、2018年5月末時点の状況を、「家計簿」については、2018年5月25日～31日の1週間及び6月24日～30日の1週間で調査

3 調査の方法

- ・世帯をグループ1とグループ2（以下、「G1」・「G2」という。）の2グループに分け、調査票の記入後にアンケートを実施
- ・家計簿A及び家計簿Bについて、それぞれ1週間ずつ、2018年5月25日～31日及び6月24日～30日の2週間にわたって調査
 - 2018年5月25日～31日：G1は家計簿A、G2は家計簿Bに記入
 - 2018年6月24日～30日：G1は家計簿B、G2は家計簿Aに記入
- ・調査票とアンケートの配布・回収は郵送による
- ・家計簿Bの調査期間中に発生した領収書やレシートを回収

4 調査結果

第7回分科会において、以下の内容のうち、①家計簿及び②年収等調査票の結果の概要を報告。その他の結果（③～⑤）については、第8回分科会（9/3）において報告予定。

- ①家計簿（食料の分類状況、記入時間の比較、各調査項目の記入方法等）
- ②年収等調査票（「その他の年間収入」の自由記入欄の記入状況）
- ③世帯票（学歴等の各調査項目の抵抗感）
- ④耐久財調査票（記入時間の比較、耐久財の概算購入総額の記入状況）
- ⑤年収等調査票（年間収入及び税金・社会保険料額の記入状況）

2. 結果の概要①（家計簿について）

(1) 世帯による食料分類の正確性

① 検証内容

食料記入の簡素化に対応した家計簿様式（以下、「家計簿B」という）を用いて、世帯に食

料の分類（1. 食品、2. 非アルコール飲料、3. アルコール飲料、4. 外食、5. 学校給食の5分類）をしてもらい、家計簿Bと一緒に回収した領収書やレシートと比較して、分類の正誤状況を確認した。

なお、調査月別の世帯人員（二人以上／単身）・世帯区分（勤労／無職／勤・無以外）別の集計世帯数は、以下のとおり。

<集計世帯数>

家計簿B		計	世帯区分		
			勤労者世帯	無職世帯	勤労者・無職以外の世帯
5月 (G2)	計	252	156	43	53
	二人以上の世帯	171	115	24	32
	単身世帯	81	41	19	21
6月 (G1)	計	254	146	53	55
	二人以上の世帯	170	99	33	38
	単身世帯	84	47	20	17
計	総計	506	302	96	108
	二人以上の世帯	341	214	57	70
	単身世帯	165	88	39	38

② 検証結果

ア 食料の分類の正誤状況

家計簿B（5月分・6月分合計）について、世帯に食料の分類がされた品目（「まとめ書き誤り¹⁾」「分類の正誤不明」を除く）の記入本数は全部で9,719件あり、うち正しい分類は9,362件（96.3%）、誤った分類²⁾は357件（3.7%）であった（表1-1）。

また、誤った分類の品目数357件の内訳をみると、「2. 非アルコール飲料」141件が最も多く、次いで「4. 外食」81件、「3. アルコール飲料」17件などが続いた。

表1-1 食料の分類の正誤状況

家計簿B		5月分・6月分合計		
		本来あるべき分類	正しい分類	誤った分類
記入 本数	1.食品	7,629	82	7,711
	2.非アルコール飲料	920	141	1,061
	3.アルコール飲料	334	17	351
	4.外食	478	81	559
	5.学校給食	1	0	1
	食料以外	0	36	36
	合計	9,362	357	9,719
	構成 比	1.食品	98.9%	1.1%
2.非アルコール飲料		86.7%	13.3%	100.0%
3.アルコール飲料		95.2%	4.8%	100.0%
4.外食		85.5%	14.5%	100.0%
5.学校給食		100.0%	0.0%	100.0%
食料以外		0.0%	100.0%	100.0%
合計		96.3%	3.7%	100.0%

※まとめ書き誤り、分類の正誤状況の不明な項目は除く

1 「まとめ書き誤り」は、食料の分類が異なる複数の品目が、「食料の分類」欄でひとつの分類に括られているケース
2 「誤った分類」の件数は、世帯が誤って分類した内容が「本来分類されるべき分類」の「誤った分類」欄に計上

イ 誤った分類の誤り状況詳細

家計簿Bの「誤った分類の誤り状況詳細」(表1-2)を見ると、誤った分類の「2. 非アルコール飲料」の合計141件のうち、世帯による分類で「1. 食品」に誤って分類されたのは138件。誤りの例としては、豆乳・茶葉(ティーパック等)・コーヒー豆が、「1. 食品」に誤って分類されているケースが確認された(正しくは「2. 非アルコール飲料」)。

また、誤った分類の「1. 食品」合計82件については、世帯による分類で「2. 非アルコール飲料」に誤って分類されたのは68件あった。その誤りの例としては、牛乳やヨーグルトが「2. 非アルコール飲料」に誤って分類されているケースが確認された(正しくは「1. 食品」)。

誤った分類「4. 外食」は合計81件あり、そのうち、持ち帰り可能なファストフード店(マクドナルド、スターバックスなど)での飲食物については、正しくは「4. 外食」に分類すべきであるが、「1. 食料」または「2. 非アルコール飲料」に誤って分類されているケースが確認された。

表1-2 誤った分類の誤り状況詳細

本来あるべき分類	合計	記入本数					合計	構成比				
		世帯による分類						世帯による分類				
		1. 食品	2. 非アルコール飲料	3. アルコール飲料	4. 外食	5. 学校給食		1. 食品	2. 非アルコール飲料	3. アルコール飲料	4. 外食	5. 学校給食
1. 食品	82	0	68	0	14	0	100.0%	0.0%	82.9%	0.0%	17.1%	0.0%
2. 非アルコール飲料	141	138	0	2	1	0	100.0%	97.9%	0.0%	1.4%	0.7%	0.0%
3. アルコール飲料	17	4	11	0	2	0	100.0%	23.5%	64.7%	0.0%	11.8%	0.0%
4. 外食	81	52	26	1	0	2	100.0%	64.2%	32.1%	1.2%	0.0%	2.5%
5. 学校給食	0	0	0	0	0	0	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食料以外	36	22	13	0	1	0	100.0%	61.1%	36.1%	0.0%	2.8%	0.0%
合計	357	216	118	3	18	2	100.0%	60.5%	33.1%	0.8%	5.0%	0.6%

ウ まとめ書き誤りの内訳

家計簿B(5月分)の世帯による食料の分類について、まとめ書き誤りによる分類の誤りは、全部で104件あった。まとめ書き誤りで確認された食料の分類の組み合わせで多かったのは、以下のとおりであった。

(まとめ書き誤りの組み合わせ)

- ・「1. 食料」と「2. 非アルコール飲料」: 73件(70.2%)
- ・「1. 食料」と「6. 食料以外」: 16件(15.4%)
- ・「1. 食料」と「3. アルコール飲料」: 5件(4.8%)

(2) 家計簿A/Bの記入に要した時間

① 検証内容

食料記入の簡素化による記入負担の変化を確認するため、2種類の家計簿を用いて記入本数や記入に要する時間を測定

- ・家計簿A：食料記入の簡素化がされていない2014年調査と同様の家計簿様式
- ・家計簿B：食料記入の簡素化がされた家計簿様式

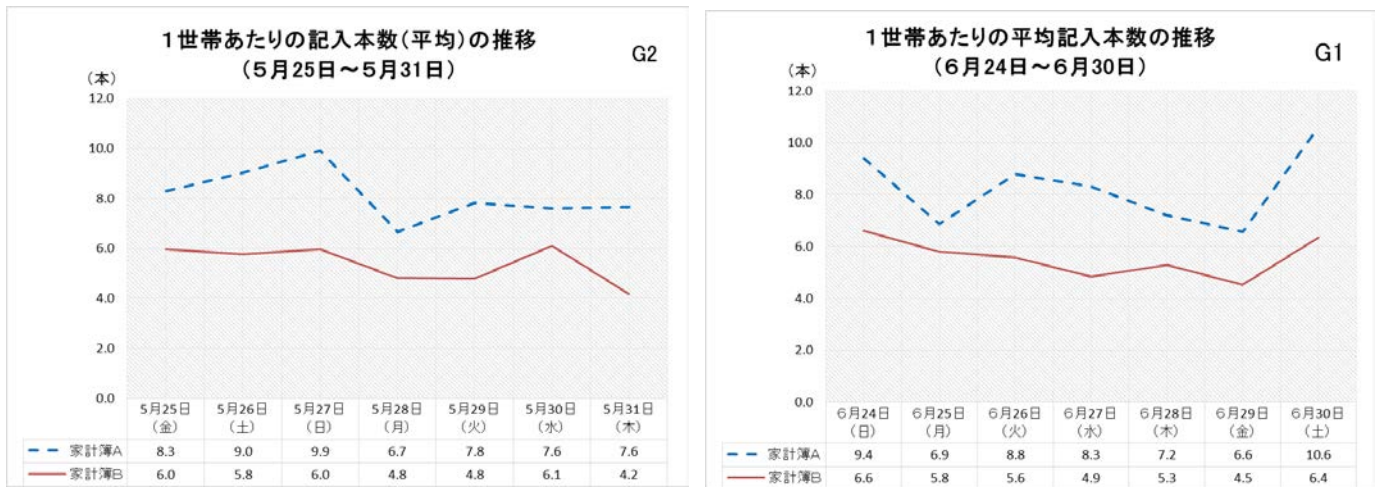
1日あたり・1世帯あたりの記入に要した時間（平均）と1日あたり・1世帯あたりの記入本数（平均）について、家計簿A/Bでそれぞれ時系列に並べて比較した。なお、比較にあたっては、家計簿の記入に対する慣れや学習による記入時間への影響を除くため、G1は家計簿A→家計簿Bの順に記入、G2は家計簿B→家計簿Aの順に記入とした。

② 検証結果

ア 1世帯あたりの記入本数（平均）の推移

家計簿A/Bについて、実施月別の1日あたり・1世帯あたりの記入本数（平均）の推移は下表のとおり（図2-1）。5月分（5月25日～5月31日）を見ると、家計簿Aと比較して、家計簿Bの記入本数は1日あたり2～3本少ない傾向が見られる。

図2-1 1世帯あたりの記入本数（平均）の推移（5月分・6月分）



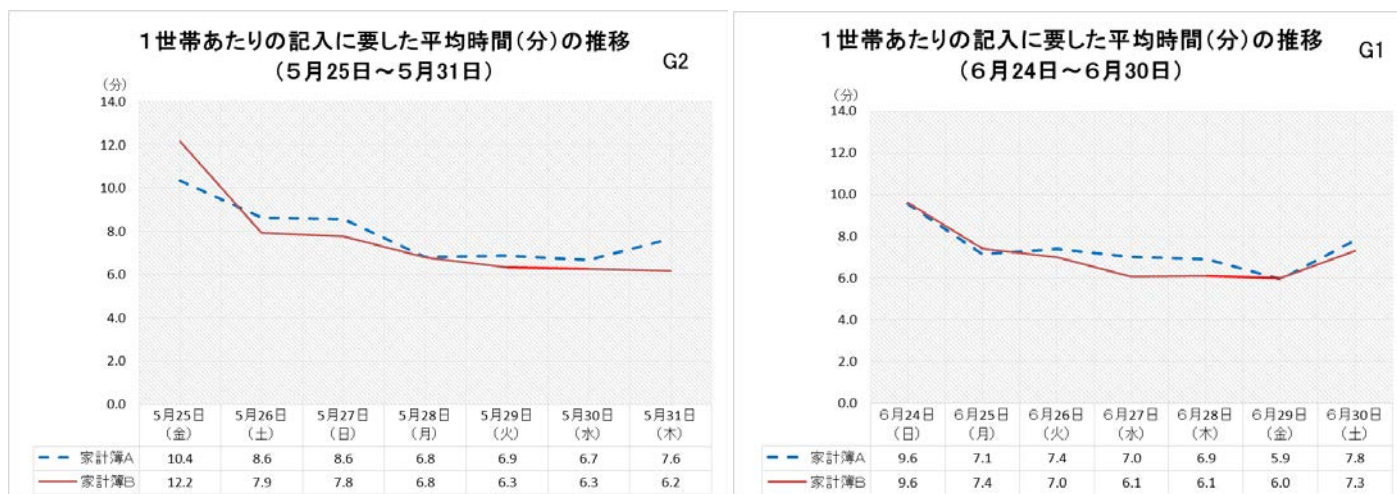
イ 1世帯あたりの記入に要した時間（平均）の推移

家計簿A及び家計簿Bについて、実施月別の1日あたり・1世帯あたりの記入に要した時間（平均）の推移は下表のとおり（図2-2）。5月分（5月25日～31日）の記入に要した時間を見ると、初日は家計簿Aが平均10.4分、家計簿Bが平均12.2分となっており、家計簿Bのほうが多くの時間を要しているが、最終日は逆に家計簿Aが7.6分、家計簿Bが6.2分となっており、家計簿Bの記入に要する時間のほうがやや短くなっている。

6月24日～6月29日（6月30日は土曜）においても同様の傾向が見られた。

家計簿A/B両方に共通する傾向として、日にちが経過するごとに記入に要する時間が短くなっている（ただし、休日は記入本数が多くなり、記入に要する時間も長い）。

図2-2 1世帯あたりの記入に要した時間(平均)の推移(5月分・6月分)



※品目等の記入の有無に係らず、「記入に要した時間」欄の記入がない世帯は、当該日の集計対象から除く

上記ア、イの結果をまとめると、家計簿Bにおいては、食料の分類を記入するにあたり、最初の理解に時間がかかっているが、日にちが経過すると記入に慣れ、記入本数の少ない家計簿Bのほうが記入に要する時間がやや短くなるものと考えられる。

(3) アンケート

① 検証内容

アンケートでは、家計簿の下記5つの調査内容の記入方法について、記入のしやすさや記入もれの有無などを質問しその結果を集計した。

1. 食料品の記入
2. 贈答・来客・仕送り等のために購入した商品
3. 預貯金の引き出しや預け入れ
4. 商品の支払い方法
5. 購入先と購入地域

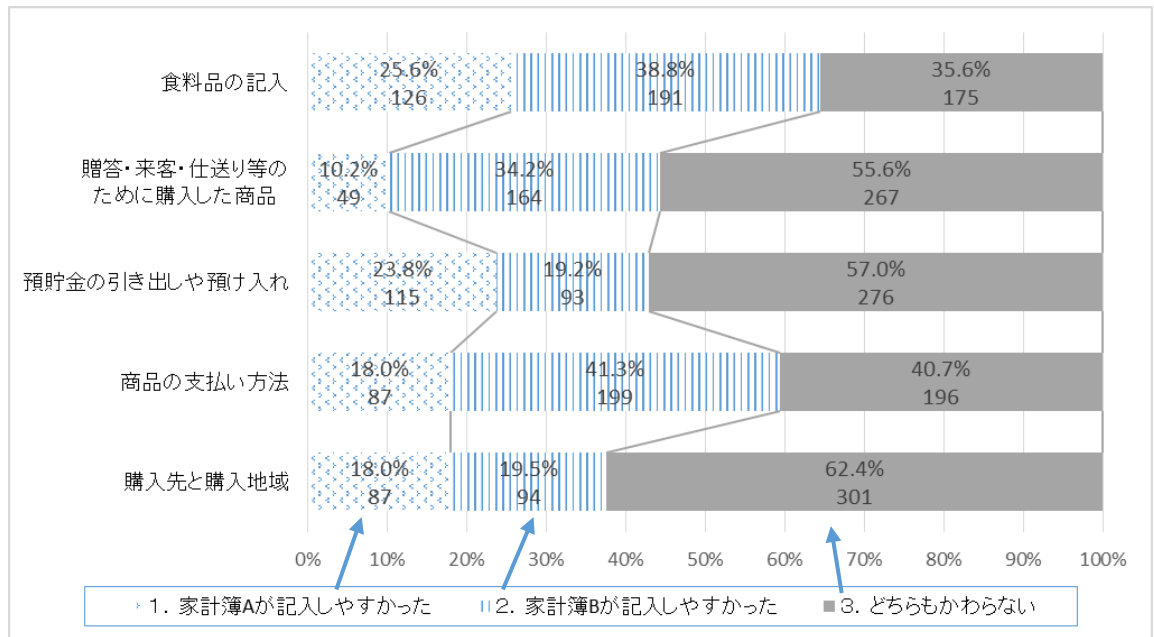
また、ドラッグストアについて、正しい記入先に記入されているか確認した。

② 検証結果

ア 家計簿A/Bの各調査項目の記入のしやすさの比較

家計簿Aと家計簿Bの記入のしやすさについて、アンケートの回答を集計した結果、先述の5つの調査内容のうち、「3. 預貯金の引き出しや預け入れ」や「5. 購入先と購入地域」は、いずれも同等の記入のしやすさであった。上記以外の3つの調査内容（「1. 食料品の記入」、「2. 贈答・来客・仕送り等のために購入した商品」、「4. 商品の支払い方法」）については、家計簿Bのほうが記入しやすいという結果となった（図3-1）。

図3-1 家計簿の記入について、家計簿AとBでどちらが記入しやすいか。



<参考> 調査項目毎の調査方法（記入のしかた）の違い

	家計簿A	家計簿B																																																																																																
1. 食料品の記入	購入した食料品について、1つずつ商品名や金額を記入する	食品、飲料、アルコール飲料、外食、学校給食の5分類を選択する (品名の記入を省略、分類ごとにまとめ書きが可能)																																																																																																
2. 贈答・来客等のために購入した商品	商品名に加えて用途(例：清酒(隣家の新築祝い))も記入する	「自家用以外(贈答・来客用・仕送りなど)」欄に○を付ける																																																																																																
3. 預貯金の引き出しや預け入れ	「Ⅲ 現金収入又は現金支出」の欄に含めて記入する	「預貯金の引出と預入」の欄に記入する																																																																																																
4. 商品の支払い方法	現金と現金以外の支払い方法でページを分けて記入する。ポイントによる値引き額を「現金収入」欄に記入する。	現金、ポイントを含め、全ての支払い方法を選択する方式で記入する																																																																																																
5. 購入先と購入地域	<p>(該当する番号を○で囲んでください)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">① 購入地域</th> <th colspan="6">② 購入先</th> </tr> <tr> <td>1 同じ市町村</td> <td>2 他(県内)市町村</td> <td>3 他(県外)市町村</td> <td>1 一般小売店</td> <td>2 スーパー</td> <td>3 コストコ</td> <td>4 百貨店</td> <td>5 生協・購買</td> <td>6 トヨタ・家電専門店</td> <td>7 デパート・ネット通販</td> <td>8 通信販売(その他)</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> </table>	① 購入地域			② 購入先						1 同じ市町村	2 他(県内)市町村	3 他(県外)市町村	1 一般小売店	2 スーパー	3 コストコ	4 百貨店	5 生協・購買	6 トヨタ・家電専門店	7 デパート・ネット通販	8 通信販売(その他)	9 その他	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	<table border="1"> <tr> <th colspan="9">① 購入先・購入地域</th> </tr> <tr> <th colspan="3">通信販売</th> <th colspan="6">店頭販売・その他</th> </tr> <tr> <td>1 通信販売(インターネット)</td> <td>2 通信販売(その他)</td> <td>3 一般小売店</td> <td>4 スーパー</td> <td>5 コンビニエンスストア</td> <td>6 百貨店</td> <td>7 生協・購買</td> <td>8 デイスクラフトストア・家電専門店</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> <tr> <td colspan="3">店舗の場所</td> <td colspan="3">1 同じ市町村</td> <td colspan="3">2 他(県内)市町村</td> <td colspan="3">3 他(県外)市町村</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	① 購入先・購入地域									通信販売			店頭販売・その他						1 通信販売(インターネット)	2 通信販売(その他)	3 一般小売店	4 スーパー	5 コンビニエンスストア	6 百貨店	7 生協・購買	8 デイスクラフトストア・家電専門店	9 その他	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	店舗の場所			1 同じ市町村			2 他(県内)市町村			3 他(県外)市町村						1	2	3						
① 購入地域			② 購入先																																																																																															
1 同じ市町村	2 他(県内)市町村	3 他(県外)市町村	1 一般小売店	2 スーパー	3 コストコ	4 百貨店	5 生協・購買	6 トヨタ・家電専門店	7 デパート・ネット通販	8 通信販売(その他)	9 その他																																																																																							
1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																							
① 購入先・購入地域																																																																																																		
通信販売			店頭販売・その他																																																																																															
1 通信販売(インターネット)	2 通信販売(その他)	3 一般小売店	4 スーパー	5 コンビニエンスストア	6 百貨店	7 生協・購買	8 デイスクラフトストア・家電専門店	9 その他																																																																																										
1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																							
店舗の場所			1 同じ市町村			2 他(県内)市町村			3 他(県外)市町村																																																																																									
			1	2	3																																																																																													

イ 各調査項目の記入状況

家計簿B³の「2. 贈答・来客・仕送り等のために購入した商品」について、記入のしかたのとおりもれなく記入できたかどうか確認した結果、「ほとんど記入しなかった」と「全く記入しなかった」を選択した世帯が約半数程度という結果となった（図3-2）。

また、「ほとんど記入しなかった」と「全く記入しなかった」を選択した理由を確認した結果、「該当するものを購入しなかった」という理由がほとんどで、記入もれは少なかった（図3-3）。

図3-2 贈答・来客用や離れて住んでいる家族のために購入した商品の記入状況

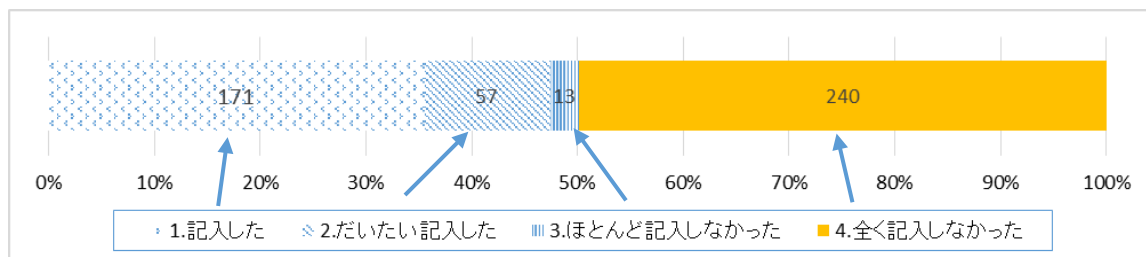
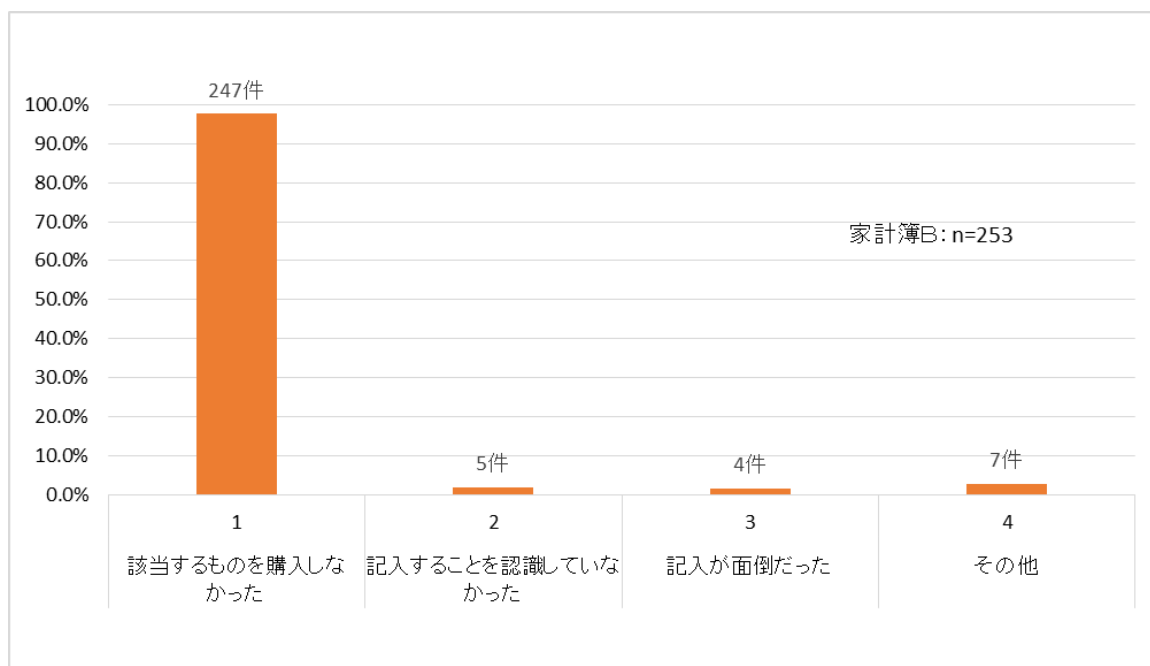


図3-3 贈答・来客用や離れて住んでいる家族のために購入した商品の記入しなかった理由（複数選択可）



³ 家計簿Aの「2. 贈答・来客・仕送り等のために購入した商品」の記入状況についてもアンケートを行っている。

また、家計簿Aと家計簿Bの「3. 預貯金の引き出しや預け入れ」について確認した結果、家計簿A・Bでそれほど大きな違いは見られなかった（図3-4、3-5）。

図3-4 預貯金の引き出しや預け入れの記入状況

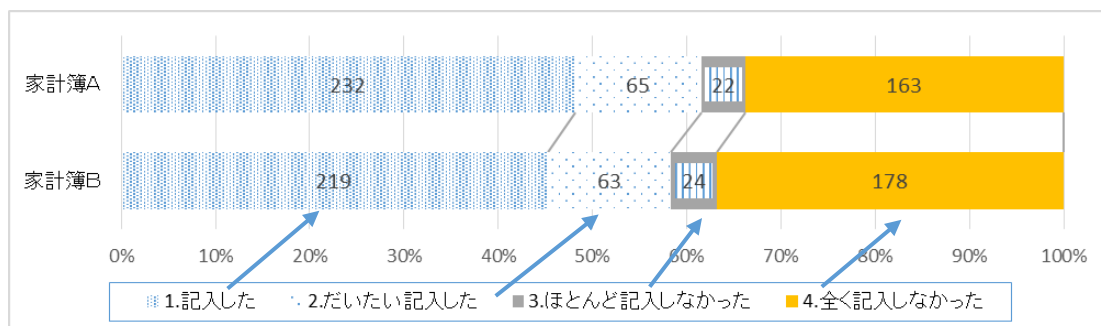
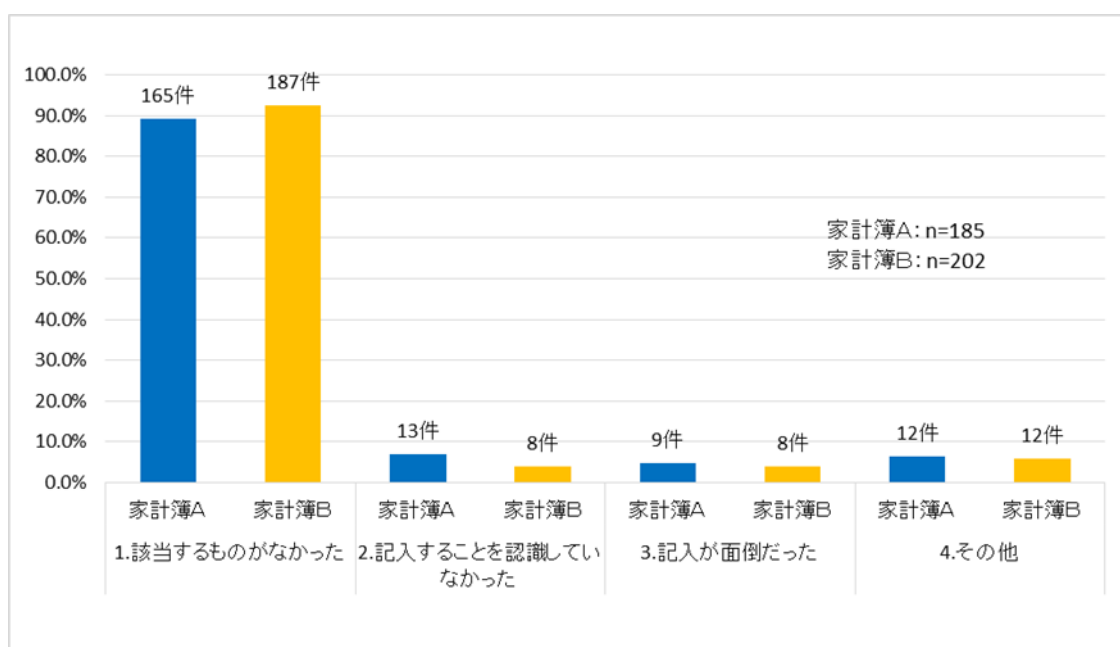


図3-5 預貯金の引き出しや預け入れを記入しなかった理由（複数選択可）



ウ 「本日の現金残高」欄の確認状況

家計簿A及び家計簿Bに「本日の現金残高」欄を設け、家計簿上の現金残高と手持ちの現金残高（財布の中身）を照らし合わせて確認していたかをアンケートで確認した結果、「1. 毎日確認した」を選択した割合が全体の6割弱を占めた（図3-6）。また、家計簿上の現金残高と手持ちの現金残高（財布の中身）が合わなかった場合の対応について確認した結果、「毎日、完全に一致していた」が7割となった（図3-7）。

図3-6 家計簿上の現金残高と手持ちの現金残高の確認状況

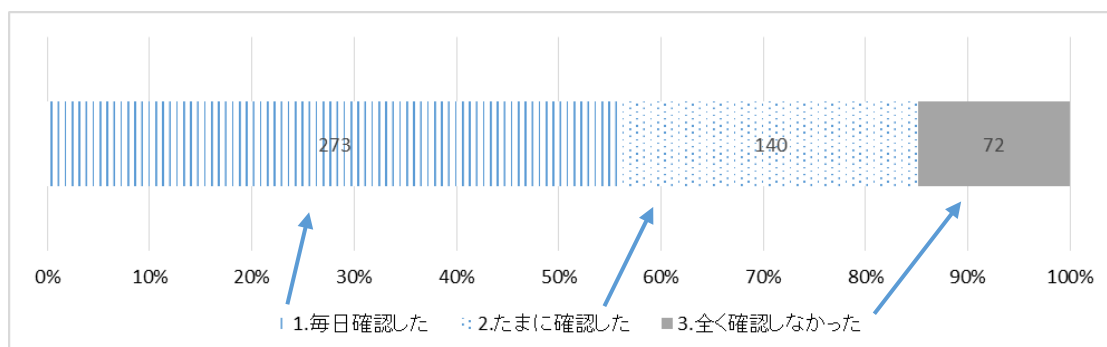
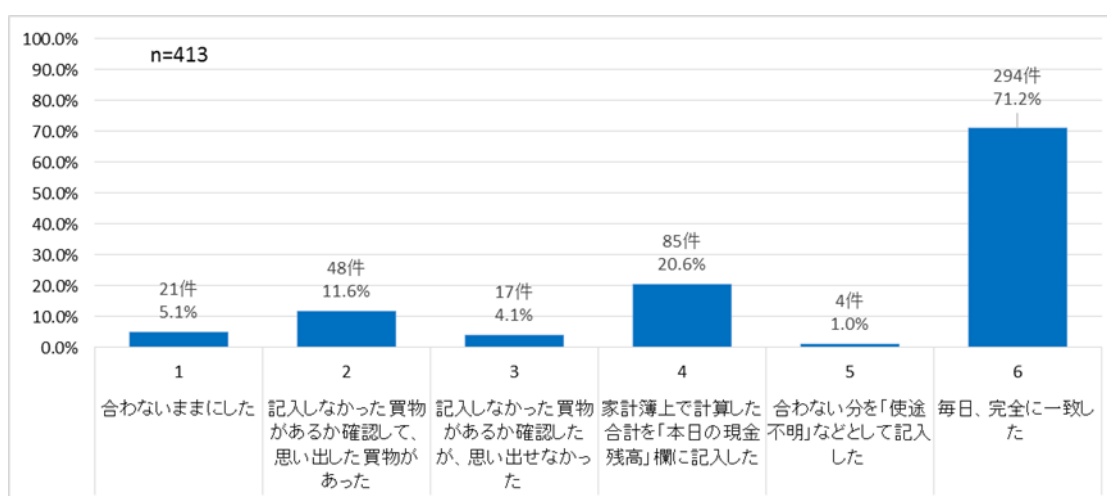


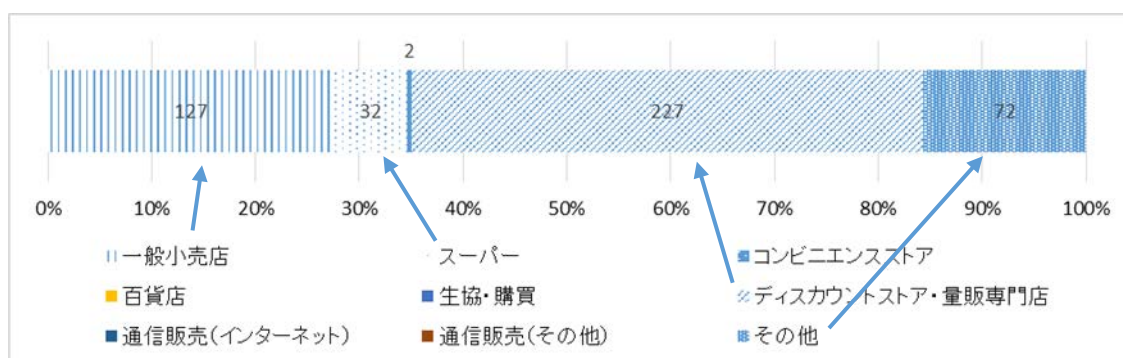
図3-7 家計簿上の現金残高と手持ちの現金残高が合わない場合の処理（複数選択可）



エ ドラッグストアの記入先について

購入先について、ドラッグストア（マツモトキヨシ、ツルハドラッグ、ココカラファイン等）をどの分類に含めて記入していたかについて、アンケートを用いて確認した結果、正しい購入先（ディスカウントストア・量販専門店）に記入していた世帯は、全体の半数程度であった（図3-8）

図3-8 ドラッグストアはどの購入先に含めていたか



3. 結果の概要②（年収等調査票について）

「その他の年間収入」欄の自由記入欄の主な記入内容

① 検証内容

年収等調査票の「(11)その他の年間収入」欄の自由記入欄に記入された回答内容が、「その他の年間収入」欄に記入するものとして適切に記載されているものの割合を確認した。

② 検証結果

年収等調査票の「(11)その他の年間収入」欄の自由記入欄に記入された回答内容を確認した結果、全体の9割弱は、「本来は別の欄に入力すべき内容、またはそもそも「年間収入」に該当しない内容」であった。内訳としては、宝くじ当選金、株式売却益など、そもそも「年間収入」に該当しない記載内容が33件（52%）で最多だった。このほか、生活保護や児童手当などの「社会保障給付金」12件（19%）、「勤め先からの年間収入」6件（10%）が続いた（図4）。

図4 「(11) その他の年間収入」欄の自由記入欄に記入された内容の正しい記入先（全63件）

